

# 好生館だより

vol. **32**  
2016.10

KOSEIKAN DAYORI



[メッセージ]  
理事長のあいさつ、館長から一言  
……………p1

[好生館ニュース]  
地域医療連携懇談会報告 他……………p2

[診療科の紹介]  
総合内科、呼吸器内科、  
消化器内科、消化器外科……………p3

看護部だより……………p4

お薬の豆知識、  
知っていますか？検査の話……………p5

感染制御部だより、医療安全管理部だより、  
医療支援部門だより……………p6

開放型病院登録医のご紹介……………p7

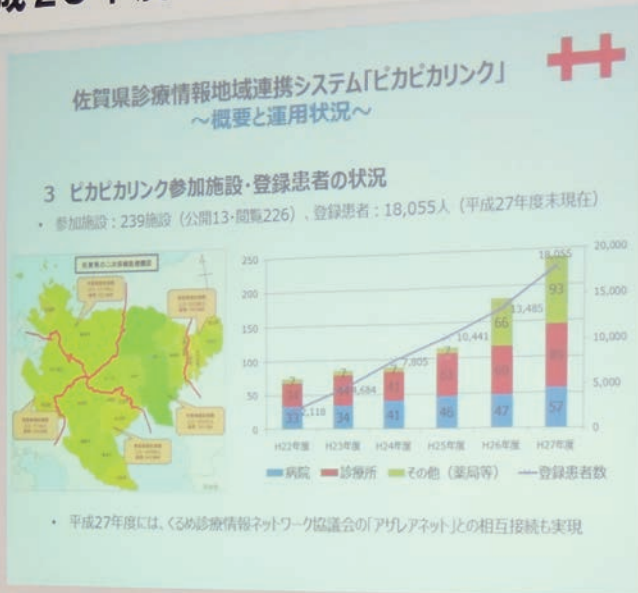
地域医療連携センターだより、  
一般・がん相談支援センターだより……………p8

新任医師の紹介、  
「好生館ふれあい夏祭り」開催報告……………p9

歴史コーナー、リレー・フォー・ライフ……………p10

外来医師一覧表……………p11

## ++ 地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館 平成28年度 地域医療連携懇談会



地域医療連携懇談会



地方独立行政法人  
佐賀県医療センター 好生館  
SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN  
SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地  
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390  
<http://www.koseikan.jp/>



理事長のあいさつ

理事長

中川原 章

## 幕末に専門医療を始めた好生館

本年8月1日付けで佐賀県健康福祉部理事として赴任された野田広氏が、好生館を訪問されました。前任が北海道厚生局長であられたので、正直なところ、如何にも強面の厚労官僚かと思っておりましたが、とても穏やかかつ庶民的な方で、ロマンチックな発想をされる方でした。

創設者の鍋島直正公、弘道館館長の古賀精里・穀堂父子、佐賀城本丸で行われた牛痘種痘の図、幕末に好生館が発行した医業開業免状など、好生館の創設期に関わる歴史資料を見ながらご説明したところ、思わぬ言葉が返ってきました。「好生館は凄いですね。この医業免札姓名簿や医業開業免状を見ると、この頃すでに内科、外科、内外科、産科、小児科など専門を指定して好生館が開業を免じていますね。これはまさに、日本の専門医制度がこの佐賀で始まっていたことを示す資料ですよ」と。

いつも何気なく見ていた好生館の資料でしたが、野田氏のこの言から、歴史的資料の中に秘められた現代に繋がる重要な意義を読み取ることがいかに大切かを、気付かせていただきました。

つまるところ、好生館(1834年～)は、鍋島直正公が創設された頃から、西洋医学の専門医療を推進していたことになりす。また、現在のわが国における専門医制度の原点であったと言っても過言ではありません。ちなみに、佐賀医科大学初代学長、古川哲二先生が目指された大きなコンセプトのひとつは、総合診療・地域医療の確立でした。したがって、今、医療行政の中で最も重要になっている専門医制度と総合診療のふたつが、共に佐賀の地で始まっていたことになりす。

歴史に学び、好生館はこれからも「専門医療の質と価値」を高め、佐賀県民の健康を守っていきたいと思います。

## 館長から一言

館長

樗木 等

平素より好生館がお世話になっています。4月発生 of 熊本震災の復興は心の復興を含め未だ厳しく、加えて気候温暖化に伴う猛暑の後、強い大型台風が短期間に来襲しています。災害対策に一層留意する必要があります。社会的にも政治家や企業の虚言、嘘申告、違法行為の話題が多く、人心の安寧にたがう雰囲気が多いのが気になります。医療では、決してこのような事がない様に、地に足をつけた丁寧な対応をしなければと思います。

平成28年度の診療報酬改定を受けて、好生館は県民の皆様に適正医療を提供できるように館内体制の見直しと医療連携推進の仕掛けに対応しているところです。専属や専任の人員を要求されますが、人員確保は有限で、効率的運用が重要です。

佐賀県は、いち早く地域医療構想を策定し、これに基づいて地域包括ケアシステムを構築する調整会議が開催されています。好生館はICTを利活用、医療連携を充実、包括ケアの地域循環のイメージで協力参画して参ります。今後は人口減を前向きに捉え、コンパクトシティと包括ケアシステムの連結のイメージも必要です。

今後とも好生館のご支援を宜しくお願いします。







## 地域医療連携懇談会を開催しました



地域との連携を深めようと9月23日、ニューオータニ佐賀で医療連携懇談会を開催しました。昨年度より開催しておりますが、今年度もたくさんの医療機関の、様々な職種の皆様方に参加して頂き、有意義な時間を過ごすことができました。

懇談会の第一部では、ピカピカリンクやカルナコネクトなど、ICTを駆使した好生館での取り組みを紹介できるいい機会となりました。第二部では、飲食しながら

ということもあり、ざっくばらんに本音で意見交換ができたように思います。いろんな職種でテーブルを囲んで、それぞれの立場から、それぞれのご意見やご要望など、伺うことができました。顔を合わせたことで、更に連携を深めることができたのではないかと思います。

※ピカピカリンク…佐賀県診療情報地域連携システム ※カルナコネクト…インターネットによる事前時間指定予約 ※ICT…情報通信技術



地域医療連携センター  
副センター長  
園田 美佐枝

## さがんパス・netの運用開始

さがんパス・netとはピカピカリンクを経由して、地域連携パスのデータをnet上で入力できるシステムです。データを転記する手間を省き、直接パスシートにデータ入力を行うことができます。データが蓄積されれば、二次活用にも利用することができます。現在は、脳卒中パスのみ運用を開始していますが、今後他の疾患パスでも運用できるように拡大を目指しております。



## 再興された臨床に関わる医学研究所 ～好生館ライフサイエンス研究所再興記念シンポジウム～

好生館ライフサイエンス研究所  
所長 前 隆男



好生館には明治時代に臨床に関わる研究所が設立され多くの研究がなされていた記録があります。

今回、約140年の年月を経て平成26年9月に臨床医学に直結した研究所が再興され、平成28年7月9日に再興記念シンポジウムが館内で開催されました。

九州大学副学長佐々木裕之先生と佐賀大学医学部長原英夫先生にご挨拶を頂き、特別講演には国立がん研究センター 東病院院長大津敦先生と日本整形外科学会名誉会員小林晶先生をお招きし、一般講演では愛知県がんセンター研究所田中英夫先生、佐賀大学医学部中山功一教授、神奈川県立がんセンター古田耕先生、サガハイマツト篠藤誠先生と当研究所の安浪道郎副所長、泉秀樹疾患遺伝子研究部長に発表いただきました。

当日は100名を超える参加者に多くの先端技術が紹介され大変充実したシンポジウムとなりました。



## 佐賀清和中学の職場体験学習が行われました

教育センター  
副センター長 藤田 尚宏



佐賀清和中学校からの要請を受け、本年度から教育センターが窓口となり「職場体験学習」の受け入れを開始しました。体験学習で好生館を希望したのは、中野みちるさんと田中舞さんの2名でした。受け入れに先立ち、希望生徒にアンケート調査したところ、救急や集中治療領域に興味があり将来は医師を目指したいとのことでした。

職場体験学習は、平成28年8月18日と19日に行われ、各病棟の看護部門、緩和ケア病棟、救命救急センター、手術室、検査部、薬剤部、総合外来、放射線部、MEセンター、集中治療部、栄養管理部を見学する形で行われました。ドクターカーの動画を見たり、ドクターヘリの見学なども取り入れ、満足すべき体験学習になったようです。

## 「きらら」七夕訪問

総務課 庶務係  
係長 延岡 史朗



好生館の敷地内にある「日新保育園」分園『きらら』から好生館の玄関口に飾る七夕飾りの贈呈式が7月1日にありました。式には『きらら』の年少「つばめ組」と年中「かなりや組」及び本園(佐賀市長瀬町)の年長「ひばり組」から園児41名が参加しました。

この行事は、好生館が水ヶ江から移転してきた平成25年から行われており、今年で4回目となりました。

今年は、最初に園児が「たなばたさま」を歌ってから七夕飾りが贈呈されました。短冊には、園児達のかわいらしいお願い事等がたくさん書いてあり、素晴らしい七夕飾りとなっていました。また、緩和ケア病棟及び小児病棟にも七夕飾りを頂きました。

総合内科

## 地域医療機関と 当館専門各科とをつなぐ

総合内科  
部長

松石 英城



平成28年度から診療体制を変更し、地域医療機関との併診や逆紹介を積極的に進めています。紹介数に倍する逆紹介数が目標です。同様に専門各科との連携・協働に力を注いでいます。

受診科が未決定、帰属科が不明、複数合併症を有し主領域を絞れない、総合的観点からの診療が必要等の患者さんの診療を担当します。守備範囲を広げるべく研鑽を重ねています。

展望は医療者教育の推進です。実践診療の中にある、臨床推論、複数の合併症を有する患者でのキープロブレム抽出、優先順位を判断し治療に結びつけるプロセスの探究に努めています。

呼吸器内科

## せき、たん、息切れで お困りの方へ

呼吸器内科  
部長

岩永 健太郎



慢性のせき、たん、息切れのような呼吸器症状は気管支喘息、COPD、様々な間質性肺疾患が原因となることがあります。

当科では気管支喘息などのアレルギー疾患については、新しい知識を持った優れたアレルギー臨床医である加藤医師が中心となり診療に取り組んでいます。

また間質性肺疾患には多種多様な疾患が含まれており、その診療には専門的知識を必要とします。当科では今年4月より赴任した久保田医師が幅広い臨床経験と知識を生かし診断と治療にあたっています。

呼吸器内科は急性疾患から慢性疾患まで、良性疾患も悪性疾患も幅広い病気を対象としていますので、お気軽にご相談ください。

消化器内科

## 先進医療と救急医療を 両立させています

消化器内科  
部長

緒方 伸一



当科では消化管の診療を行っており、2015年度の内視鏡件数は、上部消化管4810例(うち治療内視鏡969例)、下部消化管2289例(うち治療内視鏡750例)と多数例の診療を行っており、24時間365日の救急診療にも対応している状況です。

内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は2006年から保険収載され、現在では早期消化管癌の基本治療となっていますが、熊本地域医療センター(2001年3月開始)・長崎医療センター(同年4月開始)に次いで、九州では3番目となる2001年7月から開始しました。食道アカラシアに対する内視鏡的筋層切開術(POEM)についても2012年から開始するなど先進的医療も積極的に導入して参りました。

今後とも精進して参りますので宜しくお願ひ申し上げます。

消化器外科

## 消化器外科は最後の砦 としての覚悟を 決めています

消化器外科  
主任部長

北原 賢二



消化器外科ではチーム医療を徹底しており、責任を持って手術や術前・術後管理を担当しています。平成27年度(1月~12月)の消化器外科手術総数は894例(肝胆膵外科を除くと624例)と年々増加傾向にあり、特に腹腔鏡下手術(519例)の増加が顕著です。近年はがん患者さんの高齢化が進み、それに伴い深刻な合併症を有する患者さんも増加しています。このリスクの高い患者さんの周術期に100%の安全性を確保することは容易ではありません。しかし、佐賀県消化器外科の最後の砦としての役割もある当科としては、手術適応を十分考慮しつつ、用意周到の上で毅然と立ち向かっていく必要があります。幸い、当館ではそのような合併症に関しての各分野の専門家チームが控えており、周術期管理にも万全の体制が可能となっています。内科・放射線科・緩和ケア科・ICU・麻酔科・病理検査科・感染制御部・リハビリテーション科・看護部・栄養管理部・地域医療連携センターなどと密接に連携し、質の高い集学的治療と安全な周術期管理を常に心がけています。





## 新しく3名の認定看護師が誕生しました

今年度は新たに3名の認定看護師が誕生し、好生館では12分野17名となりました。臨床現場で困ったことがありましたらご相談ください。



心不全看護認定看護師  
寺田 恭巴子

「心不全」と聞くと、とても悪く、良くならないのでは？と思われることもあるかもしれませんが、でも、正しい治療のもと正しい知識を持っていただき、適切な日常生活が送れたら、病気とうまく付き合っよりよい生活を送る事が出来ます。医師や理学療法士など多職種で協働し、心臓リハビリテーションや服薬・食事包括的な支援を行い個別的な調整をしながら生活の質改善を目指します。



緩和ケア認定看護師  
藤森 静香

当院で緩和ケア分野3人目の認定看護師となりました。看護の基本ともいえる緩和ケアの院内での定着化と在宅緩和ケアの普及を目標に活動していきます。



救急看護認定看護師  
田中 由美

救急看護認定看護師の役割は、救急現場での看護ケアや危機的状況におかれた患者さん・家族の精神的ケアなどがあります。

不慮の事故や病気にあわれた患者さん・家族にとって少しでも安心できる存在でありたいと思っています。患者さんの笑顔を取り戻すためのお手伝いができるよう、日々精進していきます。

## “ふれあい看護体験”を開催しました



7月29日(金)

今年度は、熊本地震でDMATメンバーとして活動した看護師の体験談を紹介し、AEDの使用法を含む心肺蘇生体験を催しました。緊張した面持ちの高校生達でしたが、徐々に緊張もほぐれ、笑顔が見られていました。

また、病棟での看護業務見学・体験では、「患者さんから頑張っねと声をかけられ、うれしかった」「看護師はやりがいのある仕事だと思った」「看護師になりたいという気持ちが強くなった」などの意見が聞かれました。



## お薬の豆知識

### 妊娠と薬



薬剤部 植松 大智

妊娠判明後に妊娠中に服用していた薬が添付文書上「妊婦には禁忌」とあるとわかった場合、あなたならどうしますか。

妊娠と聞くと、どうしても薬物療法は敬遠されがちです。確かにワーファリン®のように奇形との関連がわかっているものもありますが、多くの薬剤はそれほど問題ないとされています。

赤ちゃんへの影響を考えるにあたっては、添付文書の情報だけでは不十分です。一例として、クラビット®の添付文書では妊婦への使用は禁忌

となっていますが、妊娠初期にキノロン系薬剤を使用した母親から生まれた赤ちゃんを調べた報告では、「奇形発生リスクを大きく上昇させるものではなく、安全性に大きな問題はないと考えられる」と結論付けられています。

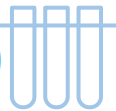
しかし、安全性が確認されているペニシリン系などの抗菌薬で十分治療可能であるにも関わらず、添付文書の記載に逆らって積極的にクラビットを妊婦に使用するべきではありません。

冒頭で述べたような妊婦さんに出会ったときに、先輩妊婦さん達のデータをお示しして不要な不安を取り除くことこそが重要なのです。



知っていますか？

## 検査の話



### 頸動脈エコー検査について



検査部 生理検査室  
田中 宏枝

動脈硬化症とは文字どおり「動脈が硬くなる」病気のことです。

進行すると血液の通り道(内腔)が狭くなり、完全に詰まってしまうとその先の方へ血液が流れなくなります。

動脈硬化は全身の色々な動脈で起こりますが、脳や心臓の血管に起こりやすく、脳血管障害(脳梗塞や脳出血)、心血管障害(狭心症や心筋梗塞)のような生死にかかわる疾患の原因となります。

頸動脈エコー検査は首にある頸動脈を超音波で観察し、血管内部の状態や血液の流れる速さを計測することにより全身血管の動脈硬化の程度を予測することが可能となります。痛み

もなく非常に安全で、かつ重篤な病気の原因を探ることができる有用な検査です。

当館では毎年秋に開催されております県民公開講座において、頸動脈エコー検査を体験することが出来ます。

ご自身の血管の状態を知る良い機会ですので、ぜひ参加されてみてはいかがでしょうか？







## 感染制御部だより

### サーベイランス

感染制御部  
感染管理認定看護師 三好 恵美子



「サーベイランス」とは、医療関連感染の発生を防止することを目的に、科学的ルールに基づき収集・分析したデータを関連するスタッフへフィードバックして、日常の感染対策に役立てる活動です。

サーベイランスの実施は感染防止対策の強化として求められており、当館でも中心静脈ライン血流感染や人工呼吸器関連肺炎、手術部位感染などのサーベイランスを実施しています。

多くの時間を費やしますが、現場スタッフと連携し、情報を共有しながら医療関連感染の低減に取り組んでいます。

## 医療安全管理部だより

### 医療メディエーター 養成研修を開催しました

医療安全管理部  
医療安全管理者(GRM) 川内 ひとみ



6月25日、26日の2日間、講師の宮下先生(長崎川棚医療センター院長)、岐部先生(大分大学医学部附属病院副看護部長)を招いて研修会を当館で開催しました。受講生は医師、薬剤師、看護師、MSW、事務、医療秘書と多職種にわたり33名が参加しました。

医療メディエーションとは患者と医療者の橋渡し役を担い、それぞれの思いや背景を共感的に受け止め、情報共有と相互理解ができるように、質問をとおして対話を推進していくことです。

医者役、患者役、メディエーター役をロールプレイで経験しそれぞれの立場を理解できました。単にメディエーターを養成するという目的ではなく、受講者がメディエーションマインドをもって対応することで組織全体の質向上が期待できます。

## 医療支援部門だより

### 医療支援部門の症例 検討会を開催しました

薬剤部長・副教育センター長  
松永 尚



医師、看護師を除くメディカルスタッフ、いわゆるコメディカルについての教育はどのように行われているのでしょうか？コメディカルの教育は、ほとんど部門ごとに行われ部門間での教育はなされていないのが現状だと思います。

コメディカルには多くの職種があります。薬剤師、検査技師、放射線技師、臨床工学技士、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、事務職員など様々な職種が存在します。今回、教育センターが中心となり、7月8日に第1回医療支援部門症例検討会を開催しました。今回は、新人職員を対象とし、以下を目的としたものです。

- 1) 全人的医療を学び、患者中心の医療とチーム医療について理解する。
- 2) 各職種間における横の連携、すなわち顔が見える関係を作る。

今回の症例は、「55歳男性、2型糖尿病、脂質異常症、動脈硬化症」で、各部門での関わりについて、スモールグループディスカッション(SGD)形式で検討会を行いました。参加人数は50名、SGDへの参加者は20名であり、3グループに分け活発な意見が出されていました。最後に糖尿病代謝内科吉村部長から有益なコメントを頂き閉会となりました。

各グループとも的を得たプレゼンテーションがなされ、非常に有益な検討会でした。



◀ファシリテーターからのアドバイス



見学者を含めた▶  
SGD風景

開放型病院登録医のご紹介

あじさいクリニック  
乳腺外科

〒840-0801  
佐賀市駅前中央1-9-38  
TEL 0952-27-7600

院長  
濱本 隆浩



平成23年に佐賀駅南口のビル1階で開業しました。乳がん  
に悩む女性の身近で信頼できる伴走者となることを目指し  
日々診療に励んでいます。

乳がん治療はもとより、がんを抱える女性の健康問題を解  
決するため好生館各科の先生方にご相談することも多いので  
すが、いつも快くお受けいた  
だき感謝に堪えません。

折角の開放型病院機能を  
もっと積極的に活用できる  
よう取り組みたいとも考えて  
おります。今後ともよろしく  
お願いいたします。



医療法人  
素心庵栗山医院

〒840-0826  
佐賀市白山1-4-6  
TEL 0952-23-2636

院長  
栗山 一道



拙院は昭和27年、今はなき大和紡績工場の南、多布施町に  
先代、父一八が開院し、数年を経て現在の白山1丁目…昔は  
中町とっていましたが…に構えを移し現在に至っている  
診療所です。

主な診療対象は内科一般ですが、先代より踏襲している漢  
方診療を中心に据えている関係上、様々な訴えの方を拝見し  
ています。とはいえ現代医  
学的標準的治療は必須であ  
ると考え、可能な場合は拙  
院で、不可能な場合は、多く  
の専門家の先生方の助け借  
りて診療しております。



医療法人せとぐち内科

〒849-0204  
佐賀市久保町久保田130-6  
TEL 0952-51-3111

院長  
瀬戸口 洋一



平成11年9月に開業し17年になりました。院長室の窓からは  
田んぼが広がり、クスノキには野鳥が飛び交い、明るくのどか  
な雰囲気です。佐賀大学内科では肝臓病を専攻していましたが、  
開業してからは糖尿病患者数の多さと増加に加え、専門医も  
取得していた事で、最近では糖尿病を主体に診療しています。

糖尿病は合併症が問題で、  
他科との連携が大切になり  
ますが、循環器内科をはじめ  
すべての診療科が迅速に対  
応して下さり大変助かって  
います。今後とも病診連携  
を宜しく願っています。



医療法人如春窩会  
東与賀大塚医院

〒840-2221  
佐賀市東与賀町下古賀1349  
TEL 0952-34-7071

会長・院長  
大塚 坦



私は佐賀市東与賀町で7代続く有床診療所を開設しています。  
1930年父は好生館内科に、1974年私は透析、麻酔科に、2011年  
次男は腎内科に勤務していました。1974年県内で初めて松本  
先生(故人)と試行錯誤しながら血液透析療法を行いました。

最近の透析患者様は高齢化で要介護透析者、認知症、糖尿病、  
車椅子生活者の方が多く2007年に介護老人保健施設内に診療  
所、2012年に歯科口腔外科  
を併設しました。

好生館の救急、各診療科  
の皆様にはお世話になり心  
より感謝しております。



医療法人安寿会  
田中病院

〒840-0862  
佐賀市嘉瀬町扇町2344-16  
TEL (昼)0952-23-2640

理事長  
田中 寿人



当院は整形外科手術治療を主体とした急性期病院です。  
在宅や介護に移行できる治療はどんどん移行して医療費の  
節約に努めております。

この厳しい医療経営環境下に急性期病院を維持しておりま  
すのも、当院は手術が必要な患者には内科管理も行いながら  
整形外科専門的治療を行う  
事が使命だと考えております。

もちろん、広域災害発生の  
非常事態時に好生館が必要  
な機能を十分に発揮できる  
ように、補完的機能も果たし  
ていく所存でございます。



医療法人實生会  
池田産婦人科

〒840-2105  
佐賀市諸富町諸富津431-4  
TEL 0952-47-3541

院長  
池田 雅彦



当院は、父が当地で開業し50年余りになります。分娩を取り  
扱う有床診療所のため緊急事態も多く、水ヶ江時代から好生  
館の先生方にはお世話になりっぱなしです。

今回の好生館の転院によりやや遠くなり、有明沿岸道路の  
一日も早い延長を望んでおります。

産婦人科では、出産数は  
減少しましたが産科医の数、  
特に出産を扱う開業医の数  
が激減しており、基幹病院と  
協力して安全な出産体制を  
守れるように努力いたして  
おります。







## 地域医療連携センター

### 地域医療従事者研修会を開催して

7月28日に「在宅・施設における看取りと救急の立場から」とのテーマで、地域医療従事者研修会を開催しました。225名と多数の方に来て頂き、準備していた会場だけでは入りきれずに、ライブ中継会場でも参加をして頂きました。多職種の皆さんが身を乗り出して、興味深く聴講されていました。

また講演後に、会場からも貴重なご意見をいただき、充実した研修会になりました。

地域医療連携センター

副センター長 園田 美佐枝



研修会の案内を、ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。皆様の参加をお待ちしております。

URL <http://www.koseikan.jp>

お知らせ

平成28年度県民公開講座  
「みんながなるの？認知症」というテーマで、  
11月5日(土)に開催します。

連絡先 地域医療連携センター (TEL:0952-28-1495)



### 退院支援の体制強化についての取り組み

一般相談支援センター

副センター長 田代 加代子



好生館では、退院支援体制づくりに取り組んでおります。

入院後、退院困難な患者さんへ早期に介入し、退院支援計画書の作成、患者さん・家族と面談し、多職種にてカンファレンス後、退院を支援することで、患者さん・ご家族が安心、安全な療養生活を継続できるように、その人に適した地域の社会資源、人的資源を活用して支援を行っています。

高齢・独居・身寄りなしや、家族がいても疎遠な患者さんが増えています。一般相談支援センターでは、転退院支援が大きな比重を占め、依頼件数も急増しています。入院後、転退院支援へ早急につながら

れるよう、医師、看護師、医療ソーシャル・ワーカーを中心に多職種との連携を図りながら、患者さん・家族の希望や病気の状態に応じた転退院先を選択できるように支援しています。

今後、さらに連携医療機関との顔の見える関係の構築と在宅(施設を含む)での介護連携の支援に努めていきたいと考えています。

お知らせ

平成28年度 緩和ケア症例検討会は、

日時	テーマ
11月9日(水)	死にたいほど辛いと言われたら(不安・不眠・恐怖・抑うつなど)
1月18日(水)	終末期の鎮静(辛い症状がこれ以上緩和できないとき)
3月15日(水)	死を学ぶ・死に向きあう(看取りの教育と看取りの実際)

担当：一般相談支援センター 原田までお尋ねください。

平成28年度 がん県民公開講座は、

12月3日(土)

好生館多目的ホール・エントランスにて開催されます。

### 患者会(なごみの会)のご案内

がん相談支援センター

副センター長

日浦 あつ子



当館では、化学療法を受けている方の患者会「なごみの会」を毎月第3水曜日14:00~16:00に多目的ホールにて開催しています。

入院中でも外来通院中でも家族だけでも構いません。医師、看護師、医療相談員も参加して、お茶を

飲みながら一緒に語り合う場です。

ただ今、患者さんの提案により「なごみの会新聞」作りに取り組んでいます。日常生活の知恵や趣味、ペット自慢など、何でも構いません。写真やイラスト、川柳など、投稿をお待ちしています。

因みに、10月は初めての試みで、会場をアバンセに移して楽しいお菓子作りをしながら、管理栄養士も茶話会に参加します。

日時 10月19日(水)14:00~

会場 アバンセ 3階調理実習室

お気軽にご参加ください。



8月1日付



麻酔科  
医師  
荒木 建三

10月1日付



麻酔科  
医師  
古賀 由希恵

10月1日付



眼科  
医員  
高木 由貴

10月1日付



脳神経外科  
医員  
古川 隆

## 「好生館ふれあい夏祭り」開催報告

### 「好生館ふれあい夏祭り」を開催しました

計画推進室 室長  
貞富 幸夫



去る7月30日に、地域住民の方々に好生館への理解を深めてもらうため、「夏祭り」を地元自治会と協力しながら開催しました。

今回の夏祭りは、好生館がこの嘉瀬の地に開院して以来、初めて開催しましたが、当日は、およそ700人の

の来者がありました。

盆踊り、カラオケのど自慢大会、健康相談、抽選会や島田洋七さんのサプライズ登場などもあり、賑やかに開催されました。



夏祭りでは長年演奏活動をされている好生館職員が、素晴らしい曲を披露しました。お二人にお話を伺いました。

### 「ハーモニカはポケットに入るオーケストラ」

栄養管理部 栄養管理長 小根森 智子

ハーモニカはサイズも音も小さいけれど、素敵な音楽を奏でることのできる楽器です。

私がハーモニカを始めたのは平成18年の九州地区自治体病院栄養部門研修会の余興のためでした。

当時から基本はアンサンブルで、所属している佐賀新聞文化センター講座では複音ハーモニカ、コンカ

ローレ佐賀ではバスハーモニカを担当し、九州・県の定期演奏会や全国コンクールに出場しています。

教室以外の練習時間はほとんど取れず、今回のような複音のソロはこの2~3年でやっと人前で披露できる程度になりました。



### 「深まる秋は音楽鑑賞へ」

救命救急センター 看護師 月光 千夏

ホルンは中学生から始めました。以前は佐賀市民吹奏楽団、ブラスアンサンブルパルズに、現在はアルモニア管弦楽団に所属しており定期的に演奏会を行っています。

CDや音楽配信で気軽に音楽を楽しめる現代ですが、生の音楽は身体で音圧を感じることができ、違った感動を味わえると思います。この秋は皆さんも演

奏会にでかけてみませんか？繊細で迫力のある音の響きが、あなたの生活を豊かにしてくれるはずです。



アルモニア管弦楽団HP/[orchestra.musicinfo.co.jp](http://orchestra.musicinfo.co.jp)





## 好生館の大楠



副館長 林田 潔

古い好生館の写真に、大きな楠木の前の記念写真がよく見られます。

好生館のシンボルともいえるこの大楠は、旧好生館のどこにあったのか気になり、移転前に旧好生館敷地内を見て回ったことがあります。南門の入り口横の大楠も大きかったのですが、写真よりは一回りも二回りも小さいもので、該当するような大楠は、残念なことにすでにありませんでした。

いろいろ調べてみると、旧好生館南棟新築工事が始まる前の昭和28年1月に、佐賀市長、好生館館長外立ち会いの下、佐嘉神社神官により、大楠処分御祓式挙行との記録が残っていました。

今もそのまま残っていたらどんなに大きくなって



いただろうかと思いを巡らせます。旧好生館に残っていた数本の大楠は、幸いなことに、更地にする際にも伐採されず、保存されており、好生館の歴史を100年後にも伝えてくれるだろうと思います。

## リレー・フォー・ライフ・ジャパン(RFLJ) 2016佐賀が開催されました。



がん相談支援センター  
がん相談支援係長・MSW 大石 美穂

9月24、25日に、佐賀で第2回目のRFLJ2016佐賀が開催されました。天候にも恵まれ、約2000人の来場者となり、当館からは46名のボランティアが参加しました。

今回の当館の活動は、「がんがあっても社会に出よう☆楽しもう!!」をコンセプトに、ちびっ子ボランティアのレモネードの配布や、理学療法士と福祉用具貸与事業所より役立ちツールの紹介や試し利用を実施しました。

また、全体として「知ってる？がんの〇×クイズ」も実施しました。閉会式では、副大会長をつとめた当館の中川原理事長より、サバイバーも、ケアギバーも一体となり、地域ぐるみで取り組むことのできた、意義ある



がん相談支援センター TEL 0952-28-1210

イベントだったと述べた通り、患者・家族、支える職種も、皆が同じ立ち位置で、がんに向き合うことが大事だということを実感できた集いでした。

# 外来医師一覽表

(平成28年10月1日現在)

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患 再来	池田 園子 松石 英城	松石 英城 池田 園子	池田 園子 松石 英城	松石 英城 —	池田 園子 —
	呼吸器内科	新患 再来	小宮 奈津子 久保田 未央	岩永 健太郎 加藤 剛	加藤 剛 岩永 健太郎	久保田 未央 加藤 剛	久保田 未央 岩永 健太郎
		肝胆膵内科	—	河口 康典/中下 俊哉	古賀 風太 中下 俊哉/桑代 卓也	河口 康典/桑代 卓也	河口 康典/古賀 風太
	消化器内科	新患 再来	当 番 医 中山 敦史	当 番 医 緒方 伸一	当 番 医 富永 直之	当 番 医 緒方 伸一	当 番 医 行元 崇浩
		ヒロリ外来(完全予約制)	—	—	—	中山 敦史(午前)	—
	血液内科	新患 再来	近藤 誠司 横尾 眞子	横尾 眞子 権藤 久司/久富 崇	久富 崇 近藤 誠司	近藤 誠司 久富 崇/移植後7日-7日外来(午後)	横尾 眞子(第1・3・5金曜)/ 久富 崇(第2・4金曜) 権藤 久司
		腎臓内科	—	力武 修一 中村 恵	—	力武 修一	中村 恵
	糖尿病代謝内科	—	吉村 達(新患のみ)	吉村 達	吉村 達(新患のみ)	吉村 達	—
	腫瘍内科(予約・紹介)	新患/コンサルト 再来	大塚 大河 嬉野 紀夫/大塚 大河	小楠 真典 嬉野 紀夫/小楠 真典	嬉野 紀夫/小楠 真典 嬉野 紀夫/小楠 真典	嬉野 紀夫 嬉野 紀夫/大塚 大河	大塚 大河/小楠 真典
		感染症(予約・紹介)	—	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
	膠原病・リウマチ(14:00~16:00)	—	(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)	—	—	—	多田 芳史 小野 伸之
	透 析	—	中村 恵	力武 修一	中村 恵/力武 修一	中村 恵	力武 修一
	小児科	午 前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)	—	担 当 医 神経外来(当館医師) 内分泌外来	担 当 医 循環器外来	担 当 医	担 当 医 血液外来
		午 後 (完全予約制)	アレルギー外来(第1・第3) 乳児健診種 予 防 接 種	神経外来(当館医師) 神経外来(医大医師第2・4) 内分泌外来/予防接種	循環器外来 予 防 接 種	1ヵ月健診	アレルギー外来 心身症外来 血液外来
	循環器科	午 前	江島 健一 古閑 靖章	吉田 敬規 中村 郁子	吉田 敬規 中村 郁子	古閑 靖章 中城 総一	林 田 潔 江島 健一/秋山 雄介
午 前 不整脈外来 ペースメーカー外来(予約制)		山口 尊則	—	—	—	山口 尊則(第3金曜日休診)	
精神科	午 後 (完全予約制)	—	心カテ	心カテ(午前・午後)	心カテ	—	
	再診 初診 月~金 8:30~12:00 月~金 12:00~13:00 午 後	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 非常勤医師	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	
放射線科	放射線診断 ・IVR	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相 部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	
	放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内	午 前	新患/再来	高島 洋	高島 洋	小野 南月	小野 南月	
	午 後 (14:00~16:00) パーキンソン病外来(予約制)	—	検査・処置	回 診	—	高島 洋	
脳血管内科	午 前	—	上床 武史	杉 森 宏	東 英 司	上床 武史/榊 佑介	
緩和ケア科	午 前(再診) 午後(新患)	完全予約制	—	小杉 寿文 鴨池 直邦	—	小杉 寿文 鴨池 直邦	
禁煙外来	午 後	完全予約制	—	岩永 健太郎(14:30~16:30)	林田 潔(13:30~15:30)	寺崎 泰宏(14:30~16:30)	
外 科	消化器外科	新患 再来	田中 聡也 佐藤 清治	平木 将紹 姉川 剛	久保 洋 池田 貯	池田 貯 平木 将紹	姉川 剛 田中 聡也
		肝胆膵外科	新患 再来	三好 篤	北原 賢二	三好 篤	久保 洋
	乳腺外科	—	—	手 術	白羽根 健吾/藤野 稔	手 術	白羽根 健吾/藤野 稔
	呼吸器外科	新患 再来	—	手 術	寺崎 泰宏 寺崎 泰宏/松竹 晴美	—	寺崎 泰宏 寺崎 泰宏/松竹 晴美
		小児外科	新患 再来	村守 克己 福田 篤久	手 術	上杉 達	福田 篤久 村守 克己
	眼 科	午 前	—	手 術	手 術	手 術	手 術
午 後		—	検査	検査	検査	検査	
産婦人科	午 前	婦人科 産 科	金井 督之/八並 直子 光 貴 子	安永 牧生/川崎 いずみ 室 雅 巳	—	安永 牧生/光 貴 子 川崎 いずみ	
	午 後	婦人科(紹介・予約) 産 科(紹介)	川崎 いずみ 室 雅 巳	光 貴 子 室 雅 巳	手 術 日 (急患のみ担当者)	室 雅 巳 手 術 日 (急患のみ担当者)	
(14:00~16:00) 午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。							
耳 鼻 いんこう科	午 前	—	手 術	宮崎 純二/大橋 充 嶋崎 絵里子	—	宮崎 純二/大橋 充 嶋崎 絵里子	
	午 後	—	—	回診・検査	—	回診・検査	
泌尿器科	午 前	—	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/村上 知彦	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/村上 知彦	—	徳田 倫章/諸隈 太 内野 洋志/村上 知彦	
	専門外来	—	腎移植	腎移植	—	腎移植	
歯科口腔外科	午 前	—	野口 信宏	野口 信宏	野口 信宏	野口 信宏	
	午 後 完全予約制	—	佐野 直人	佐野 直人	佐野 直人	佐野 直人	
形成外科	午 前	—	増本 和之	—	回診	—	
	午 後	—	外来手術	手 術	フットケア外来	手 術	
皮膚科	午 前(紹介のみ)	—	古場 慎一 外来手術(午後)	手 術	古場 慎一 外来手術(午後)	手 術	
整形外科	一般整形	—	前 隆 男/塚本 伸章 屋良 卓郎/当 番 医	手 術	前 隆 男/佛坂 俊輔 小宮 紀宏/当 番 医	佛坂 俊輔 手 術	
	脊 椎	—	加藤 剛	—	加藤 剛	—	
脳神経外	午 前	—	松本 健一	高松 裕一郎	坂田 修治	—	
	午後 専門外来	予約のみ	(水頭症外来)坂田 修治 (脳腫瘍外来)高松 裕一郎	—	(脳動脈瘤外来)松本 健一	手 術	
心臓血管外	午 前	—	手 術	内藤 光三 里 学	—	内藤 光三 里 学	
	午 後	—	—	回診	—	回診	
人 間 ド ッ ク	一 般	—	林 田 潔	井之口 香映子	権藤 久司	権藤 久司	
	脳ドック	—	高島 洋	坂田 修治	杉 森 宏	上床 武史	
	心臓ドック	—	—	—	—	樗木 等/林田 潔	
看護専門外来	完全予約制	—	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	